



日本共産党平戸市議会議員

山崎かずひろの市議会だより

2017年8月

ご意見・ご相談をお知らせください
山崎市議は当選以来、毎回の市議会で一般質問を行い、「山崎かずひろの市議会だより」として配布しています。日本共産党や山崎市議へのご意見・ご相談など、なんでもお寄せください。
なお、山崎市議の「ブログ」「ツイッター」をご覧ください。週2、3回更新しています。

ブログ「平戸日誌」 検索

住所：平戸市岩の上町214-1 ☎・FAX：0950-23-8021 携帯：080-1002-2248 メール：yk1922@wind.ocn.ne.jp

ストップ！「玄海原発」再稼働

黒田市長は「同意権」をもとめよ

国と九州電力は、多くの住民や自治体の「再稼働反対」の声に耳をかたむけることなく、玄海原発を再稼働しようとしています。（この「市議会だより」をお届けするころには、再稼働されているかも知れません）

他市の市長と大きく違う黒田市長

こうした中、山崎かずひろ市議は6月市議会です、黒田市長に対して「平戸市として、再稼働反対の取り組みを強くおこなうこと」を求めました。

松浦市長「原子力災害の被害は広範囲であり、短期間で終わらない。市民が100%の安全を求める根拠はそこにある。国が100%安全と言わない以上、反対する。市民の生命や財産を守るために必要なのが、自治体として再稼働に同意するかどうかの権利——同意権だ。松浦市も同意権を求める。」

きない空気感を肌で感じた。住民説明会で、ある女性が「原発はもしものことがあるたら大変。電気代がちょっと高くても我慢できる。そもそも経済の問題と人の命、健康の問題を同じレベルで考えること自体がおかしい」と発言した。この発言に背中を押された。自治体の首長は、国のエネルギー政策に追随するよりも、住民の安全・安心に対する不安に寄り添うことが責務だと思った。

市民アンケートでも「反対」が圧倒的

伊万里市長「福島原発事故の1年後に、南相馬市や飯館村などに行き、立地自治体だけの問題ではない、と感じた。原発の恐ろしさ、表現で

山崎市議が行った「市民アンケート」へのご協力、ありがとうございます。154人から回答が寄せられています。（7月15日現在）

玄海原発再稼働については、表のように「反対」が圧倒的多数です。
日本共産党平戸支部と山崎市議は、市民のみなさんと共に、原発再稼働ストップの運動を強めていきます。

10月の市議選に山崎かずひろ市議（現）を公表



日本共産党長崎県北部地区委員会（石川悟委員長）は、10月に行われる平戸市議会議員選挙に、現職の山崎かずひろ市議を擁立すると発表しました。山崎市議は2009年の市議選で初

当選し、現在2期目。

日本共産党は、山崎かずひろ市議を再び市議会に送るために、全力をつくします。みなさんのご支援、ご協力をよろしく願います。

玄海原発再稼働について

賛成	10人 (6%)
反対	121人 (79%)
わからない	14人 (9%)
未回答	9人 (6%)